

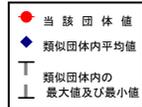
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

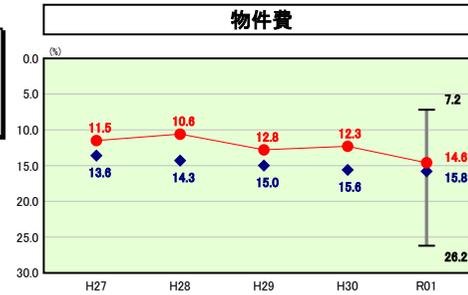
福島県大熊町

経常収支比率の分析

人口	10,313	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	10,271	人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	78.71	km ²	実質公債費比率	-2.4	%
歳入総額	28,232,509	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	26,976,478	千円	市町村類型	H27 I-2 H28 I-0 H29 I-0	
実質収支	339,943	千円	(年度毎)	H30 I-0 R01 I-0	
標準財政規模	5,219,886	千円			
地方債現在高	0	千円			

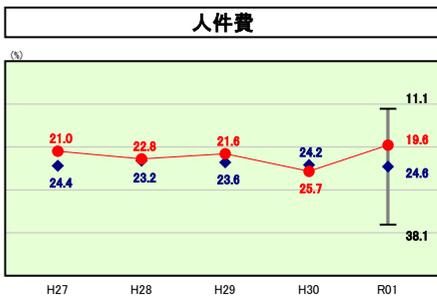


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



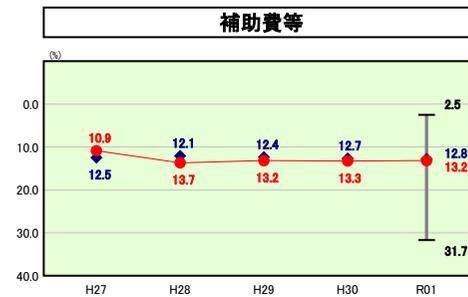
類似団体内順位 58/151 全国平均 15.0 福島県平均 16.8

物件費の分析欄
 前年と比較し2.3ポイント増加している。昨年度に帰町したことに伴い、施設の維持管理等が増えたことが要因である。



類似団体内順位 17/151 全国平均 25.6 福島県平均 23.2

人件費の分析欄
 前年度と比較して6.1ポイント減となっている。人件費自体は微増しているが、特定財源の増のため、経常経費充当一般財源は減少している。



類似団体内順位 91/151 全国平均 10.3 福島県平均 11.8

補助費等の分析欄
 ほぼ前年度並みだが、類似団体よりも高い数値となっている。今後は補助金を交付するのが適当な事業を行っているかなどについて明確な基準を設けて、不適切な補助金は見直しや廃止を行う方針である。



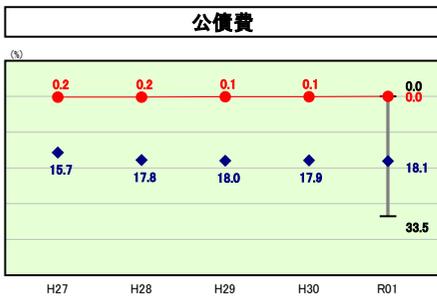
類似団体内順位 96/151 全国平均 13.1 福島県平均 8.8

扶助費の分析欄
 扶助費については56,369千円(1.3%)増加している。今後は、資格審査等の適正化による抑制を図る。



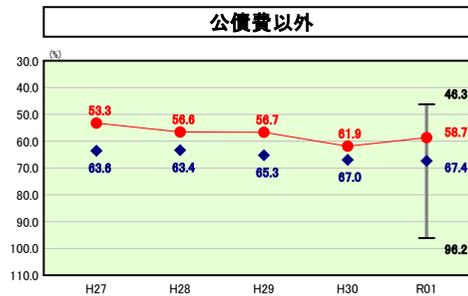
類似団体内順位 36/151 全国平均 13.1 福島県平均 14.6

その他の分析欄
 震災後、減少していた維持補修費が大熊町へ帰町したこともあり、44,577千円増となったが、繰出金が78,709千円減となったため、全体では0.6ポイント減となっている。今後は下水道事業等への繰出金が増加する見込みである。



類似団体内順位 1/151 全国平均 16.5 福島県平均 14.8

公債費の分析欄
 地方債については償還が終了している。当面、起債の予定はない。



類似団体内順位 18/151 全国平均 77.1 福島県平均 75.2

公債費以外の分析欄
 前年度と比較して、経常経費充当一般財源が11,937千円減しているため3.2ポイント増となっている。